

## 品目別レポート（真珠）

### ■品目説明

真珠には天然真珠と養殖真珠があり、海で生産される海産真珠と湖沼や河川で生産される淡水真珠がある。

日本の養殖海産真珠のうちアコヤ貝を母貝とした「アコヤ真珠」は、愛媛県、長崎県、三重県など西日本を中心に生産されているが、中国においても 80 年代後半から本格的に生産されている。オーストラリア、インドネシアなどの海域では白ちょう貝を母貝とした「白ちょう真珠」、通称「南洋真珠」が、またポリネシア、ミクロネシア海域では黒ちょう貝を母貝とした「黒ちょう真珠」が生産されている。

池ちょう貝などを母貝とした淡水真珠は、日本では霞ヶ浦、琵琶湖周辺などで生産されている。流通している淡水真珠の大部分は中国産で占められ、国産はごくわずかである。

19 年度の国内生産量は、1 万 9,200 kg で前年比 6.8% 減だった（農林水産省「漁業・養殖業生産統計」）。

内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる「農林水産業の輸出競争力強化戦略（H28 年 5 月）」においては、真珠の国際的な流通拠点である香港等で開催される海外見本市において、事業者の出展（販路拡大）を支援するとともに、真珠の加工技術の高さ等、日本産真珠の魅力に関するプロモーションも併せて実施し、日本産真珠の需要拡大に取り組むことが示されている。また、真珠の品質向上等を図るため、耐病性等に優れた母貝や高品質真珠を生産する母貝の育種に係る研究開発（DNA マーカー等）にも取り組むとしている。

### ■貿易概況

▼表1：日本の真珠（天然・養殖）輸出

（単位：ドル、キログラム、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	241,787,858	26,844	263,420,237	24,846	263,977,679	30,191	0.2	21.5
米国	22,544,569	20,881	24,951,886	14,408	16,819,996	15,101	△ 32.6	4.8
中国	6,655,055	362	7,302,883	355	7,268,033	332	△ 0.5	△ 6.5
タイ	3,706,486	473	3,994,138	629	3,895,326	727	△ 2.5	15.6
イタリア	2,971,294	400	2,750,594	294	3,104,726	318	12.9	8.2
全世界	291,391,597	51,665	315,215,316	43,820	305,375,666	48,346	△ 3.1	10.3

注：対象はHSコード 7101

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の真珠の輸出動向をみると、金額は前年比3.1%減の3億537万ドル、数量は同10.3%増の4万8,346kgであった（なお、真珠製品HS7116.10は除いている）。

主要輸出国・地域の動向をみると、1位（金額ベース）の香港は、金額が前年比0.2%増の2億6,397万ドル、数量が同21.5%増の3万191kg、全体の約5割以上（金額で86.4%、数量で62.4%）を占めた。2位の米国は、金額が同32.6%減の1,681万ドル、数量は同4.8%増の1万5,101kgだった。3位の中国は、金額が同0.5%減の726万ドル、数量は同6.5%減の332kgであった。

## ■海外事情

### ●香港

▼表2：香港の真珠（天然・養殖）輸入

（単位：ドル、キログラム、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	54,173,341	9	79,491,212	62	69,521,314	140	△ 12.5	125.8
インドネシア	34,280,041	0	51,497,023	28	46,481,979	3	△ 9.7	△ 89.3
オーストラリア	71,323,255	2	48,996,265	3	41,865,975	1	△ 14.6	△ 66.7
中国	21,362,001	3	30,246,520	6	26,270,012	5	△ 13.1	△ 16.7
フィリピン	18,808,963	0	16,179,189	0	14,275,522	0	△ 11.8	-
全世界	260,571,936	17	256,808,262	101	221,035,153	150	△ 13.9	48.5

注：対象はHSコード 7101

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

香港の19年における真珠輸入動向（金額）をみると、前年比13.9%減の2億2,103万ドルであった。

輸入相手国の動向みると、1位の日本が前年比12.5%減の6,952万ドル（シェア31.4%）だった。2位のインドネシアは、同9.7%減の4,648万ドル、3位のオーストラリアは、同14.6%減の4,186万ドルとなり、上位3カ国の合計シェアは、約7割を占めた。

香港は、関税が無税であるほか、貿易取引形態がシンプルで、決済機能や、モノの出し入れなどの面から大きなメリットが得られる市場である。真珠など宝飾に係る大規模な見本市が年間複数開催されるなど、域内および中国向け消費市場としての役割のみならず、在庫機能や第3国との取引といった集積地としてのハブ機能も有している。また、香港で真珠（素材）を加工して製品化したものを、経済貿易緊密化協定（CEPA）を活用し、香港原産地の製品としてゼロ関税で中国へ再輸出できる環境にもある。中国本土からの観光客の購入やインド・中東などへの再輸出も多くみられる。

日本産真珠は、日本独自の四季によって生まれ、他国産に比べて真円に近い球体のものが多く、色やテリが特に美しいと評価されている。このため、より良質な真珠を求める層を中心に、アコヤ真珠をはじめとした日本産真珠の需要が高まっている。

オーストラリアで養殖されている真珠は、暖かい海域で育つ南洋白ちょう真珠（White South Sea Pearls）である。南洋真珠は粒が大きいことや、自然が作り上げる色と光沢の美しさが特徴で、宝石の女王と呼ばれる。真珠産業の中心地である西オーストラリア州の町ブルームには、19世紀後半に高い技術力を持つ日本人が天然真珠の採捕のために渡来し、現在の隆盛の礎を築いたとされている。真珠養殖はオーストラリアの水産養殖業の中でも古くから行われており、養殖された真珠は主に宝飾に使われている。

## ●米国

▼表3：米国の真珠（天然・養殖）輸入

（単位：ドル、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	30,701,333	-	29,311,184	-	21,334,390	-	△ 27.2	-
日本	27,915,852	-	28,046,564	-	18,504,896	-	△ 34.0	-
オーストラリア	12,880,130	-	16,576,500	-	10,213,311	-	△ 38.4	-
ポリネシア	10,800,609	-	9,793,193	-	10,046,578	-	2.6	-
インドネシア	4,871,268	-	5,045,884	-	5,754,865	-	14.1	-
全世界	124,818,232	-	106,503,816	-	80,351,722	-	△ 24.6	-

注：対象はHSコード 7101

注：統計は金額のみ。

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の真珠輸入額は前年比24.6%減の8,035万ドルであった（数量は未公表）。主要輸入相手国・地域別にみると、1位の中国が2,133万ドル（同27.2%減）、2位の日本が1,850万ドル（34.0%減）、3位がオーストラリアで1,021万ドル（38.4%減）であった。

米国市場の現状としては、日本産真珠が安価な中国産淡水真珠と競合するなど、すべての真珠が横並びで価格競争を強いられており、日本産アコヤ真珠の小売価格が、一般的なチェーンストアで販売されている淡水真珠などよりなぜ高価格であるのかという説明と啓蒙活動が消費者向けに行き届いていないという。日本は真珠産業発展のため、「真珠の振興に関する法律」（平成28年法律第74号）を制定するなど、官民を挙げた輸出促進に取り組んでいる。

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006  
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル  
TEL：03-3582-5186

**【免責条項】**

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。